

**速報****とちぎっ子学習状況調査結果（下野市の概要）改訂版**

平成 27 年 8 月

下野市教育委員会

平成 27 年度とちぎっ子学習状況調査の下野市の結果は、小学校では 5 年生の国語の「書くこと」、算数の「量と測定」、中学校の社会「世界各地の人々の生活と環境」以外のすべての領域で県の平均正答率を上回る結果となりました。

**①教科に関する調査**

<問題別> □「基礎・基本」の問題

□「思考・判断・表現」の問題

<領域別> ◇国語（小） 4 領域 ◇国語（中） 4 領域

◇算数（小） 4 領域 ◇社会（中） 5 領域

◇理科（小） 2 領域 ◇数学（中） 4 領域

◇理科（中） 4 領域

◇英語（中） 3 領域

**②児童生徒質問紙調査**

■質問数 小学校は 99 問、中学校は 108 問

■回答方法 4 つから選択

■質問内容 小学校、中学校ともにほぼ同じ内容（教科数等の差による違いあり）

○基本的な生活習慣 ○目標、達成感、長所 ○学習・テレビ・ゲーム時間

○家庭でのコミュニケーション ○関心・意欲・態度 ○規範意識・道徳性

○教科・学習の取り組み ○回答時間 等

**【H27 問題別比較】 とちぎっ子学習状況調査結果の下野市と県平均との比較**

○基礎＝「基礎・基本」の問題、思考＝「思考・判断・表現」の問題

◎大きく上回っている（5 ポイント以上） ○上回っている（1 ポイント以上 5 ポイント未満）

－同じ（± 1 ポイント未満）

▽下回っている（1 ポイント以上 5 ポイント未満） ▼大きく下回っている（5 ポイント以上）

| 小学校 4 年 | 平成 27 年度 | 小学校 5 年 | 平成 27 年度 | 中学校 2 年 | 平成 27 年度 |
|---------|----------|---------|----------|---------|----------|
| 国語 基礎   | ◎        | 国語 基礎   | ○        | 国語 基礎   | ○        |
| 国語 思考   | ◎        | 国語 思考   | ○        | 国語 思考   | ○        |
| 算数 基礎   | ○        | 算数 基礎   | －        | 社会 基礎   | ○        |
| 算数 思考   | ◎        | 算数 思考   | ○        | 社会 思考   | ○        |
| 理科 基礎   | ○        | 理科 基礎   | －        | 数学 基礎   | －        |
| 理科 思考   | ○        | 理科 思考   | ○        | 数学 思考   | ◎        |
|         |          |         |          | 理科 基礎   | ○        |
|         |          |         |          | 理科 思考   | ○        |
|         |          |         |          | 英語 基礎   | ○        |
|         |          |         |          | 英語 思考   | ○        |

## 【H27 領域別比較】 とちぎっ子学習状況調査結果の下野市と県平均との比較

◎大きく上回っている（5ポイント以上） ○上回っている（1ポイント以上5ポイント未満）

－同じ（±1ポイント未満）

▽下回っている（1ポイント以上5ポイント未満） ▼大きく下回っている（5ポイント以上）

| 小学校国語                | 4年 | 5年 | 小学校算数 | 4年 | 5年 |
|----------------------|----|----|-------|----|----|
| 話すこと・聞くこと            | ○  | ○  | 数と計算  | ○  | ○  |
| 書くこと                 | ◎  | －  | 量と測定  | ○  | ▽  |
| 読むこと                 | ◎  | ○  | 図形    | ○  | ○  |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ◎  | ○  | 数量関係  | ○  | ○  |
| 小学校理科                | 4年 | 5年 |       |    |    |
| 物質・エネルギー             | ○  | ○  |       |    |    |
| 生命・地球                | ○  | －  |       |    |    |

| 中学校国語                | 2年 | 中学校社会         | 2年 |
|----------------------|----|---------------|----|
| 話すこと・聞くこと            | ○  | 世界の地域構成       | ○  |
| 書くこと                 | ○  | 世界各地の人々の生活と環境 | ▽  |
| 読むこと                 | ○  | 世界の諸地域        | ○  |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○  | 古代までの日本       | ○  |
|                      |    | 中世の日本         | ○  |
| 中学校数学                | 2年 | 中学校理科         | 2年 |
| 数と式                  | －  | 身近な物理現象       | ○  |
| 図形                   | ○  | 身の回りの物質       | ○  |
| 関数                   | －  | 植物の生活と種類      | －  |
| 資料の活用                | ◎  | 大地の成り立ちと変化    | ○  |
| 中学校英語                | 2年 |               |    |
| 聞くこと                 | ○  |               |    |
| 読むこと                 | ○  |               |    |
| 書くこと                 | ○  |               |    |

### 1 小学校のとちぎっ子学習状況調査結果について

小学校の両学年の全教科において「基礎・基本」と「思考・判断・表現」の問題ともに、県の平均正答率を上回っていました。

国語では、小学4年生で県の平均正答率をすべての領域で上回っていました。特に、4領域の内「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が6ポイント以上上回っていました。「読むこと」も5ポイント程度上回っていました。これに対して5年生では、「書くこと」がほんのわずかではありますが県平均を下回る結果となりました。他の3領域は1～2ポイント程度上回りました。

算数においては、4年生では「量と測定」において県平均を2ポイント以上、その他の3領域では3ポイント以上上回っていました。5年生では、「量と測定」が1.5ポイント程度下回っていました。他の3領域は1～2ポイント程度上回っていました。

理科は、県の平均正答率を2領域とも上回っていました。4年生では、両領域とも県平均を1～2ポイント程度上回っていました。5年生では、県平均とほぼ同じか、1ポイント程度上回りました。

## 2 中学校のとちぎっ子学習状況調査結果について

全教科において「基礎・基本」と「思考・判断・表現」の問題ともに、県の平均正答率を上回っていました。

国語は「読むこと」で、4ポイント以上上回っていました。他の3領域では1～2ポイント程度上回りました。

社会では「中世の日本」で4ポイント以上上回っていましたが、「世界各地の人々の生活と環境」で、1.5ポイント近く下回りました。他の3領域は1～3ポイント程度上回りました。

数学は「資料の活用」で、昨年度に引き続き5ポイント以上上回りました。「図形」でも4ポイント以上上回りました。他の2領域は、ほぼ県平均と同じでした。

理科では、昨年度大きく県平均を上回った「植物の生活と種類」「大地の成り立ちと変化」がほぼ県平均と同じと2ポイント弱上回り、他の2領域は2ポイント以上上回りました。

英語は「書くこと」で、県平均を5ポイント近く上回っており、他の2領域でも3ポイント以上上回りました。

## 3 小・中学校の児童生徒質問紙調査結果について

県の児童生徒質問紙調査の結果は、小学校4年生では、99項目の中で質問別肯定率が算出できる88項目中、77項目で県平均と同じか上回っていました。小学校5年生では、88項目中22項目で県平均と同じか上回っていました。中学校では、108項目の中で質問別肯定率が算出できる97項目中、41項目で県平均と同じか上回っていました。

小・中学校とも共通して、「自主学習の実施」「難しい問題へのやる気」「授業での友達との話し合い活動の実施」「地域や社会への関心」「道徳や学級活動が好き」等について、よい傾向が見られました。

また、小学校では「勉強しておもしろい、楽しいと思うことがある」「友達の前で発表することが得意」「思いやりの心で接すること」「実技系教科が好き」により傾向が見られました。

中学校では「授業の予習・復習」「グループでの話し合いへの積極的参加」「物事を最後までやり遂げた充実感」「数学・美術が好き」「数学がよくわかる」「理科・社会の学習は大切」等により傾向が見られました。

今後、この結果をさらに詳しく分析し、学校・家庭・地域における学習指導や生活指導の工夫改善等に生かし、児童・生徒のさらなる学力向上につなげていきたいと考えています。